

戦略的大学連携支援事業

「科学 Try アングル岡山」 行事等 報告書

行事名	「科学 Try アングル岡山」主催 連携教育研究推進シンポジウム および、第1回戦略 GP-KTO 連携教育研究推進ワークショップ		
担当部門・機関	先進科学教育部門・岡山理科大学		
開催日時・期間	平成21年10月23日(金) 17:00～ 10月24日(土)11:30	会場	加計学園 御津国際交流会館

《概要》

文部科学省「戦略的大学間連携プログラム」による「科学トライアングル岡山」における先進科学部門が企画して「連携教育研究推進シンポジウム」と「連携教育推進ワークショップ」を開催した。

《参加者》

岡山大学・岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・津山工業高等専門学校の教職員
約45名

《報告事項》

<<当日のスケジュール>>

■10月23日(金)

17:00～18:00 FD講演会

18:30～20:00 夕食

20:00～21:30 FDに関する研究会

■10月24日(土)

9:30～11:30 FDに関する討論会(全体会議)

文部科学省「戦略的大学間連携プログラム」による「科学トライアングル岡山」における先進科学部門が企画して「平成21年度第2回FD講演会・ワークショップ」が次のように1泊2日で開催された。

「FD講演会」はテーマを「ファカルティ・デベロップメント(FD)～その大学改革との関係」として平成21年10月23日(金)、岡山理科大学・御津国際交流会館において17:00から18:00の間、開催された。参加者は45名であった。講師として広島大学高等教育開発センター長・山本眞一教授をお招きした講演会では、近年の急激に拡大した高等教育とFDの必要性、18歳人口減による4年制大学の入学定員割れ、大学と受験生の立場の変化、大学教育への考え方の変化などの分析から、学士力の向上、個別大学の事情と質保証の関係、国際的通用性などの議論を通じてFDを含めた大学教育の確かなシステム構築が必要であることが強調された。



写真 1, 2 FD講演会における山本眞一・広島大学高等教育開発センター長の講演。

続いて開催された山本眞一講師を囲んだインフォーマルな意見交換会では、今後の戦略的・大学間連携 GP のあり方について議論をおこない、さらに、FDワークショップ分科会ではFDに関する大学間連携のあり方を参加者間で議論した。なお、講演会・分科会を通じて波田善夫・岡山理科大学学長、豊田副学長および各連携校のFD委員長 (FD責任者) の参加を得て行われたものであり、各連携校として大学を挙げての取組となり、今後のさらなる結束を深めることを確約した。

2日目はFDワークショップ・全体討論会として、8:30-11:00 の間、行われた。2日目までの参加者は波田善夫・岡山理科大学学長、および各連携校の佐々木・岡山大学FD委員会委員長、小山・倉敷芸術科学大学教育センター長などFD責任者を含めて 15 名であった。

討論は、内容を大学院FDに関するものを中心として、まず、各連携校から大学院(またはそれに準ずる学年)FDの現状の報告を受け、学部FDとの「質問項目」などの相違点と改良点について議論した。大学院では副指導教員制の実施(岡大)、複数教員が指導する体制への移行中(倉敷芸術科学大学)、指導教員以外の教員が大学院ゼミに参加(岡山理科大学)など、複数教員指導体制が進行していることがわかった。各参加校は、これら各連携校からの大学院FDの現状報告を参考として今後のFDの方向性を検討することとした。さらに、来年度はよりスケールの大きい「大学連携FDシンポジウム」を計画することとした。

議論はさらに、教職大学院と今後の教員免許に関する制度の変化を想定した内容に移行した。まず、先行している岡山大学の教職大学院の制度について、定員、学卒者用および現職教員用のカリキュラムに関する詳しい報告を受けた。また、新卒者用基本カリキュラムと、それに続く(大学院)1年目の講義、2年目の教育現場実習についても説明を受けた。これらを薬学教育の6年制への移行や、英国でのシステムなどと比較しながら、教育学部以外の理系学部や連携各校における教職免許の取得のための今後の方策を模索した。



写真 3,4 FDワークショップ・全体討論会。GPの今後の方向を含め、時間限度まで熱心な討論が行われた。

また、FDワークショップでは本GP終了後の連携取組の方向性について議論を進めた。特に、本GPにより開発された「実習科目」などの共通単位化する科目について、本GPによる支援終了後にどのように継続するか、および、地域(県、市)へのより深い連携の働きかけなどについて議論を交わした。